



都城工業高専地域連携テクノセンター新営 (H24補正予算)

建築年	建築面積	延べ床面積	構造	階数	本事業区分
2014年	273㎡	410㎡	鉄筋コンクリート造	地上2階	新営

事業概要

共同研究事業、産学官連携事業、学生のキャリア教育を推進しているなか、不足している共同研究スペースの確保を行い、地域の産業構造・自然環境の特殊性を活かす共同研究と技術者育成を目的とした共同教育・キャリア教育の推進を担う施設として地域連携テクノセンターが整備された。

期待できる効果

- ・共同研究スペースが確保されたことで、中断中及び研究待ちの共同研究等が推進できるようになる。
- ・牛口蹄疫や新燃岳噴火降灰による、地元産業の重大なダメージを緩和する支援技術の研究が可能となる。
- ・地域企業との共同研究や技術提供の場となることで、企業競争力を高めて地域経済の活性化・発展につながる。学生は地域産業の発展により、県内企業への就職と地域貢献を志向すると期待される。
- ・学生は、みやざきソーラーフロンティア構想や半導体技術者育成事業に参画し、企業との共同研究等から、企業技術者の持つノウハウを学ぶ。また企業技術者等によるキャリア教育支援は本校の教育理念である「優れた人格と国際性を備えた創造性豊かな実践的技術者の育成」につながる。



<外観>



<多目的会議室>



<技術情報展示ふれあいホール>



<技術相談室>

テクノセンターが目指すもの

本テクノセンターは創作的・実践的技術者の育成や技術者の再教育を基本方針として、地域の中小企業の特性を生かした産業イノベーションに積極的に取り組んでいます。その活動は、高専の技術と専門知識を広く学外にPRし、企業等からの技術相談に応え、企業等と高専による共同研究を推進することで、地域に貢献することを目指しています。

共同実験室 4

機械工学科 高橋明宏
研究テーマ：溶着研究の共同実験に関する研究
概要：炭素鋼やステンレス鋼の耐圧薄肉パイプ継手を開発するための、瞬間接合技術の研究（溶着研究）を行っています。0.3秒ほどで接合できます。



共同実験室 3

電気情報工学科 赤木洋二
研究テーマ：太陽電池に関する研究
概要：Si（シリコン）太陽電池に変わるCu(In,Ga)Se₂やCu₂SnS₃,SnSなどの化合物太陽電池に関する研究を行なっています。



農商工連携推進室



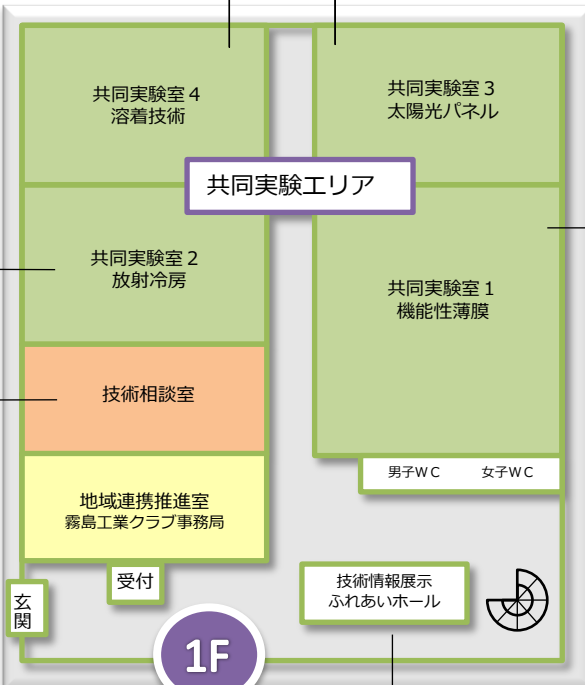
宮崎県や都城圏域の産業振興（農業の6次産業化など）施策と連携し、食品や食品素材の分析設備及び太陽光パネルなどの材料評価に特化した分析機器を導入しています。

また多様な研究開発テーマや社会人を対象とした人材育成、学生の実践的教育などにも対応できるようになっています。

広さ：98㎡
定員：24人

共同実験室 2

機械工学科 白岩寛之
研究テーマ：データセンタ向け省エネ冷却システムに関する研究
概要：外気条件を積極的に活用することにより低ランニングコストを実現できるデータセンタの新規冷却システムの研究開発を行っています。



1F

技術相談室

学外の共同研究者や企業技術者の控え室、また教職員の意見交換の場として利用できます。簡単なデスクワークも可能です。
広さ：15㎡ 定員：8人



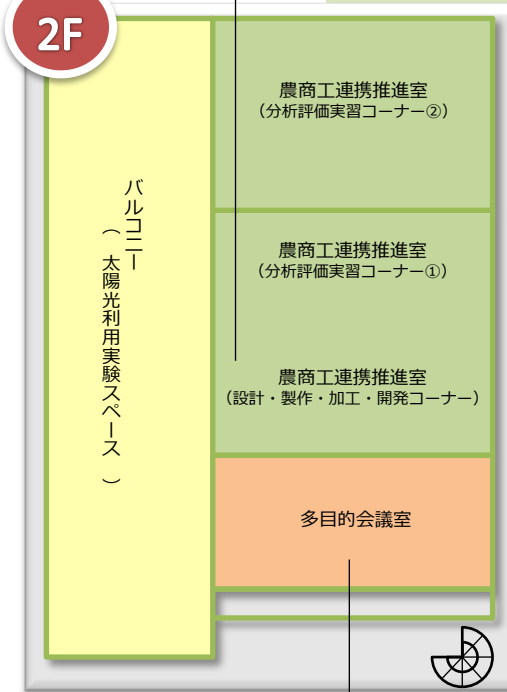
共同実験室 1

物質工学科 野口大輔
研究テーマ：機能性薄膜製造技術開発に関する研究
概要：熱エネルギーに代わる新たな薄膜構造制御手法を用いた成膜技術開発と、金属化合物薄膜を中心とした機能性薄膜への応用研究を行っています。



プラズマプロセス

2F



多目的会議室



技術情報交換会及び農商工連携研究会（人材育成）、技術説明会、展示会など、またそのほか会議や実験室、特許相談室としても利用できます。
広さ：29㎡ 定員：18人